

お話 / 演奏

文化は処方できるのか？

— 文化芸術が地域をつなぐ「文化的処方」の実践 —

愛知から鹿児島へ。環境の変化の中で、自身の芸術教育、3児の子育て、医療現場での実践を軸に地域交流拠点「きいれば」を主宰する濱田歩美さん。音楽や芸術は、人の心身や暮らしにどう寄り添えるのか。孤立を防ぎ、人と人をゆるやかにつなぐことはできるのか。過疎の進む小さなまちでの、挑戦、実践から見える、「専門性を磨き続けること」と、「地域に根ざして生きる」こと。濱田さんが実践する社会的処方、文化的処方という考え方を、ピアノ演奏を交えた講演でお送りします。



日時 2026年3月25日 [水]
13:00-14:30 (12:30 開場)

会費 1000円 (予約不要、当日支払い)
場所 港まちポットラックビル 2F

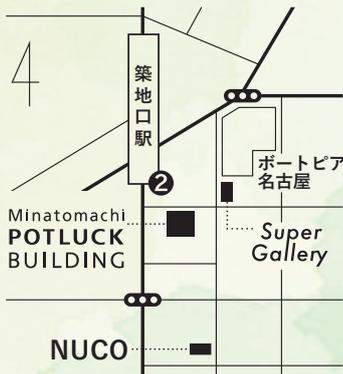


お話 / 演奏

濱田歩美 (はまだ・あゆみ)

鹿児島市在住。愛知県出身。愛知県立芸術大学音楽学部ピアノ専攻卒業後、コンサート活動の他、(株)YAMAHAとヤマハデモンストレーターとして契約し、新機種発表会での演奏、ヤマハ音楽教室生のためのコンサートやワンポイントレッスン、ヤマハ本社工場(浜松)にて来場者記念コンサートや楽器選定ピアニストを担当するなど、ピアニストとしての音楽活動に従事する。

結婚を機に鹿児島へ移住し、3人の子育てをしながら地域に根ざした活動を行っている。2022年に地域交流拠点「きいれば」を立ち上げ、子どもから高齢者までが安心して集える場づくりを実践。音楽教室主宰のほか、音楽や芸術が人の心身や暮らしに与える力を、日常の中で自然に体験できる環境づくりを大切に活動は、新聞やメディアでも数多く取り上げられている。自身の芸術教育の背景と子育て・地域活動の経験を生かし、孤立を防ぎ、人と人をゆるやかにつなぐ「文化的処方」の可能性を、地域の現場から発信している他、学会等での発表や、講演等も行い、注目を集めている。



お問合せ・アクセス

Minatomachi POTLUCK BUILDING

〒455-0037 名古屋市港区名港 1-19-23

*名古屋市営地下鉄名港線「築地口駅」2番出口より徒歩1分

tel:052-654-8911

e-mail:music@assembriidge.nagoya (アッセンブリッジ・ナゴヤ事務局)

web:www.assembriidge.nagoya

主催 | アッセンブリッジ・ナゴヤ実行委員会

協力 | 港まちづくり協議会



web サイト

